

おしごとしょうかいをしよう！

教材「どうぶつ園のじゅうい」 うえだ みや 文

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力

第2学年2組 男子14名 女子9名 計23名

研究主題

対話を機能させ 考えを深める学びづくり
 ～ 言葉による見方・考え方を働かせ、学び合いのある授業を通して ～

1 単元観

【学習指導要領との関連】

本単元は、第1学年及び第2学年「C読むこと」の内容(1)イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」を受けて設定したものである。

【本教材の特性】

本教材の特性として大きく3つ考える。

- ①動物園の獣医は、児童にとって興味・関心が高い職業である。筆者が、「わたし」という一人称で語っているため、児童は筆者を身近に感じ、動物園の獣医という仕事に興味をもって読み進めることができる。
- ②「(はじめ) 話題提示ー(中) 獣医の仕事の内容ー(おわり) まとめ」という三つのまとまりの構成になっており、構成をとらえやすい。
- ③時間を表す言葉が段落の冒頭に示され、一日の仕事が時間を追って書かれているので、時間的順序を捉えるのに適している。時間の順序に沿って、指示語や接続語に気を付けながら読むことで、仕事の内容とそのわけの関係や、仕事をするときの工夫をとらえることができる。

以上の特性を生かし、本単元では、生活科と関連させ、教材文を読んで見つけた説明の仕方のよさ(構成・時間的順序や事柄の順序・接続語・文末表現)を使って簡単な三段構成の文章を書く活動を設定した。

2 児童観

【既習単元での実態】

本学級の児童は、説明文教材「たんぼぼのちえ」で、時間の順序や理由を表す言葉等に着目しながら読む学習をし、叙述と挿絵を結び付けたり動作化したりすることで、内容を読み進めた。しかし、挿絵を頼りにするあまり、叙述から読み取ることをせず感覚で答えたり、時を表す言葉はとらえられても、たんぼぼが変化の様子やその理由をとらえられなかったりする児童がいた。

【学力調査結果】

昨年度実施した標準学力調査では、「事柄の順序を考えながら、内容を読み取る問題」の正答率が、全国平均は上回ったが市町村平均を下回っていた。文章に取り上げられた話題に内在する事柄の順序に加え、内容全体を読んで大体を理解するという力に課題がある。

【国語科アンケート調査結果】

国語科アンケートでは、「説明的な文章を読んで、大体の内容が分かる」という項目で、92%の児童が肯定的な回答であった。しかし、8%の児童は「分からない」と答えている。

【対話を機能させた学びの実態】

100%の児童が「ペア学習を取り入れた方がよく分かる。」と回答し、対話が理解を深めることにつながっている。しかし、自分の考えをもつことが難しく、自分の考えを伝えることに課題がある児童もいる。

【分析】

以上のことから、本学級の児童には、常に叙述に戻らせ、時間的な順序や事柄の順序、理由を表す言葉、文末表現等に着目できるようにペア学習を取り入れながら、手立てを工夫していく必要がある。

3 指導観

(1) 単元全体を通して

本単元では、特に以下の点に留意して指導を展開する。

- ①学習の見通しと必然性をもたせるため、生活科と関連させて、単元のゴールに、「おしごとしょうかいをしよう！」という言語活動を設定する。教材文を読んで見つけた説明の仕方のよさを使い、身近な人や、生活科の町探検で取材する地域の施設、お店の人の一日の仕事を紹介する簡単な三段構成の文章を書くという言語活動を仕組むことで、時間的順序や接続語、文末表現に意識して読むことに必然性をもたせていく。
- ②時間を表す言葉や理由を表す言葉を囲ませたり、仕事やその理由にサイドラインを引かせたりして、読み進めていく。時間的順序を表す言葉を手がかりにして、仕事を時系列に並べて整理したり、仕事カードを並び替えさせながら時間的順序を表す言葉の役割を考えたりする活動を通して、内容の大体をとらえさせたり、順序立てて説明することのよさについて考えさせたりする。
- ③本教材で学んだ読み方を生かして「おしごとしょうかい文」を書くことで、時間的順序に沿って読む力の定着を図る。まずは指導者が単元のゴールとなる「おしごとしょうかい文」のモデルを作成して提示することで、児童に学習の見通しをもたせる。

(2) 学習に用いる言葉・表現・語彙

学習に用いる言葉

説明文 筆者 文のつくり (はじめ・中・おわり) 段落 時間をあらわす言葉 理由をあらわす言葉
 順序 つなげる言葉 (接続語)

着目させたい表現・語彙

時間を表す言葉 (朝 見回りが終わるころ お昼前に お昼すぎには 夕方 一日のしごとのおわりには
 どうぶつ園を出る前には)

つなげる言葉 (なぜかというと また そこで すると だから)

理由をあらわすことば (なぜかというと ~からです ~ので だから ~のです)

(3) 対話を機能させる学び合いに向けた手立て (聴く・つなぐ・もどす)

- 友達の考えを聴くことを大切にし、自分の考えに生かすようにする。
- 友達の考えを言い換えさせることで、個やペアの考えをつなぐ。
- 教材文にもどることで、課題解決のための考えを導き出せるようにする。

4 単元の目標

- 「おしごとしょうかい文」を書くことに意欲をもち、説明の仕方のよさを見つけようと進んで教材文を読もうとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- 時間的な順序を考えながら、書かれている内容を理解し、整理することができる。 【読むこと(1)イ】
- 時間を表す言葉や、理由を表す接続語とその用法を理解し、「おしごとしょうかい文」に生かすことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ウ)】

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
ウ 「事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む言語活動」を通じた指導		
○説明の仕方のよさを見つけようと、進んで教材文を読もうとしている。	○時間的な順序に気を付けながら、文章を読んでいる。	○時間を表す言葉や、理由を表す接続語とその用法を理解している。

6 本校で育成したい資質・能力

	資質・能力	めざす姿
スキル	課題発見・解決力	教材文から説明の仕方のよさを見つけ、時間の順序や文章構成上の学びを生かして、紹介したい仕事について説明している。

7 単元計画
(1) 単元構想図

おしごとしょうかいをしよう！
教材「どうぶつ園のじゅうい」

課題発見 (1)

- 町探検では、図書館や消防署などで働く人の仕事を見せてもらったね。何が大変か、どんな工夫をしておられるか、インタビューもさせてもらったね。
- 校長先生や教頭先生、保健室の先生は、どんな仕事をしておられるのかな。
- 吉田町には、町の人を笑顔にするために仕事を頑張っておられる人がたくさんいるね。そのことをもっと町の人に知ってもらいたいね。



吉田町で働く人の「おしごとしょうかい文」を書いて、
地域の人に読んでもらおう！

お仕事を分かりやすく紹介する文章を書くためにはどうすればよいか？

課題の設定 (1)

「どうぶつ園のじゅうい」の説明のよさを見つけて、「おしごとしょうかい文」を書くときのお手本にしよう。

情報の収集 整理・分析 (6)

- ①時間的順序に沿って、獣医の仕事とそのわけをとらえる。
- ②時間をあらかわす言葉に着目し、獣医の一日の仕事の流れをまとめる。【本時】

まとめ・創造・表現 (2)

- ①教材文で学んだことをもとに、お仕事紹介文の下書きをする。
- ②ペア・グループで下書きを読み合い、お互いにアドバイスをする。
- ③お仕事紹介文の清書を書く。

実行 (1)

お仕事紹介文を、町探検でお世話になった地域の方に配布したり、
学校に掲示したりして、紹介する。

【生活科】

「えがおのひみつ
たんけんたい」



【国語科】

「こんなもの、見つけたよ」(書くこと)
知らせたいことを、「はじめ」「中」「おわり」の
組み立てで、書く。

振り返り (1)

- 時間を表す言葉や文末表現に気をつけて、「いつ」「何をしたか」「何があったか」を確かめながら読むことが大切だね。
- 「なぜか」というと「～からです。」などの言葉に注目すると、理由がわかるんだね。

- 時間を表す言葉を使って、したことの順序がわかるように書くと、わかりやすいね。
- 日記や作文を書くときにも、この学習で学んだことを使ってみよう。

(2) 指導計画 (全12時間)

次	時	・学習活動 資質・能力の重点	評価観点			◇評価規準 (評価方法)
			関	読	言	
第一	1	・学習課題を設定し学習の見通しをもつ。 課題発見・解決力	○			◇身近な人の一日の仕事を紹介する学習に興味を持ち、進んで仕事について説明した文章を読み、情報を得ようとしている。 (行動観察・ノート)
第二	2 3 4 5	・獣医の仕事とそのわけ、工夫をとらえる。		◎		◇時間を表す言葉や理由を表す言葉、文末表現などに着目して、獣医の仕事を項目(仕事・理由・工夫)ごとに整理している。 (仕事カード) ◇時間を表す言葉や、理由を表す接続語を理解している。 (行動観察・ノート)
	6 本時	・時間を表す言葉に着目しながら、獣医の一日の仕事の流れをまとめる。 課題発見・解決力		○		◇時間を表す言葉に着目しながら、カードにした獣医の仕事を並べ替え、その理由を説明している。 (行動観察・仕事カード)
	7	・全文を読んで、はじめ・中・おわりの文章構成をつかむ。		○		◇はじめ・中・おわりの三つのまとまりで文章が構成されていることに気付いている。 (行動観察・ノート)
	8	・教材文を読んだ感想を書き、交流する。		○		◇感想を書くときの言葉を使いながら、自分の知識や体験と比べて感想を書いている。 (行動観察・ワークシート)
第三	9 10 11	・身近な人の、一日の仕事を紹介する文章を書く。 ・グループで下書きを読み合い交流する。 課題発見・解決力		◎		◇教材文での学びを生かし、時間を表す言葉や理由を表す言葉を使って、身近な人の一日の仕事について紹介する簡単な三段構成の文章を書いている。 (ノート) ◇時間の順序を表す言葉や、理由を表す接続語とその用法を理解して、自分の紹介文に生かしている。 (行動観察)
	12	・学習を振り返り、学んだことを交流する。 課題発見・解決力	○			◇学習したことを生かして、説明文を読んだり、紹介文を書いたりすることのよさに気付いている。 (行動観察)

8 本時のねらい

(1) 本時の目標

- ・時間を表す言葉に着目しながら、仕事カードを並べ替え、なぜそのように並べたのかの理由を説明することができる。【読むこと(1)イ】

(2) 本時の評価規準

- ・時間を表す言葉に着目しながら、カードにした獣医の仕事を並べ替え、その理由を説明している。

(3) 準備物 ・仕事カード ・教科書の挿絵・写真 ・時刻を表す数直線図

5	5 本時のまとめをする。	<div data-bbox="231 235 1257 380" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【まとめ】 時間をあらわすことばにちゅう目して、時間のじゅんばんをたどって読むと、じゅういさんの一日のしごとのながれがよくわかる。</p> </div>	
5	6 本時を振り返り、次時の見通しをもつ。	<p>〈本時でめざす子どものすがた〉</p> <ul style="list-style-type: none"> • 時間をあらわす言葉に注目して、順番通りに読んでいくと、獣医さんの一日の仕事の流れがよく分かるね。 • 「どうぶつ園のじゅうい」は、一日の流れが順番通りに書かれているね。 • 自分で紹介文を書くときにも、時間をあらわす言葉を使って、順番通りに書くと、分かりやすいお仕事紹介文が書けるんだね。 	

(5) 板書計画

